



# 福岡県立須恵高等学校

## <学校の重点目標>

- 「自律的な学修者の育成を念頭においた授業の展開」
- ・学力の三要素のバランスある育成を目指す授業改善とそのための観点別評価の推進
- ・「総合的な探究の時間」を中心にした生きた学びの創造

## キャッチフレーズ「あなたの夢によりそいます」の実現

- ・学校満足度100%を目指す取組



## 地域連携

取組 ～地域を支え、地域に愛される学校～

○総合的な探究の時間(1年生)  
周辺5町1市と連携し、市や町の課題を生徒自らが考え、課題解決の方法を計画・実行する。活動の中で新たな課題を発見し、解決を図る。

○総合的な学習の時間を活用した体験活動(医療看護クラス)  
「ボランティア体験活動」や「職場体験活動」で周辺の医療機関や保育機関、介護施設、地元企業と連携

○小学生との交流会  
・22年間続く伝統行事!  
・1000人以上の児童の参加!  
・周辺5町と連携し、30カ所の小学校や公民館等で小学生への学習支援やレクリエーションを行う。全生徒がコミュニケーション能力や多様な資質・能力を伸ばさせる

○須恵町と連携協定を締結  
・町が生徒の健全育成を支援!  
・多様な取組を協働で行う  
・町とコラボし、町をPRする商品を企画しました。

○学習レンジャー  
須恵町の3つの小学校と連携し、教員や保育者希望の生徒による小学生の学びを支援

○学習支援サポーター  
周辺中学校との連携(夏休み)  
周辺幼稚園での読み聞かせ

## 自ら進んで学びます

○「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る取組

### ①授業実践

1単位時間の工夫

- ・「めあて」「振り返り」の明確な提示  
→主体的に学習に取り組む態度を育む
- ・「パフォーマンス課題」設定  
→「問い」をもって学習にのぞみ、新たな「問い」を設定
- ・ペアやグループでの学習  
→自分の考えを伝え、周囲と協働して考えを高め合う

### ②観点別評価の推進

- ・3観点のバランスの良い育成

### ③ICT活用

- ・e-ポートフォリオ「Feelnote」で学びの蓄積・振り返りの実践

### ④定期考査

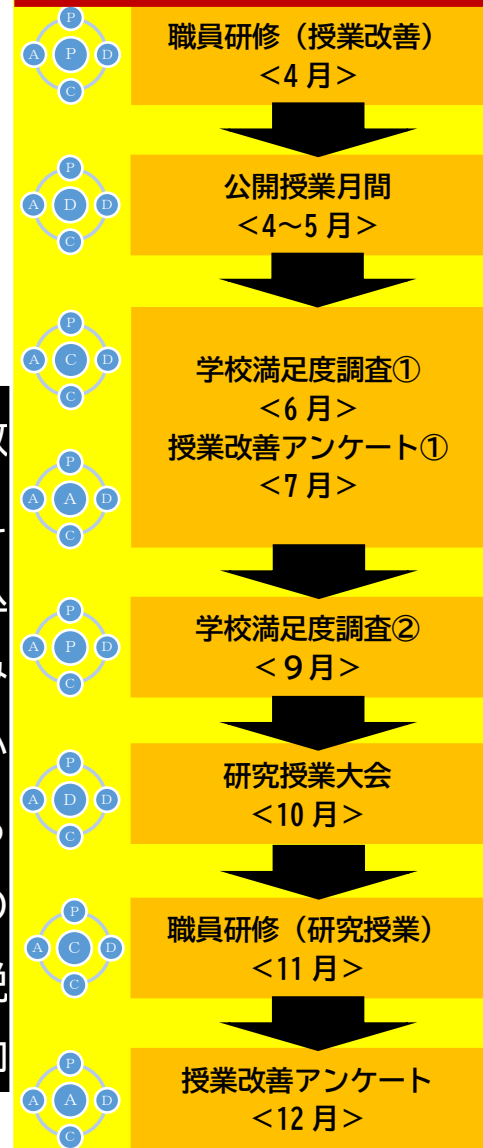
- ・「思考力・判断力・表現力」を重視した問題の作成
- ・定期考査を廃止し、単元テストの導入(数学科)

探究的な学び

教え込みからの脱却

## 教員の意識・指導力の向上

取組 ～思考力・判断力・表現力等の育成～



## 成果

- ★学習への満足度  
「学習への満足度」  
大変満足：16%、やや満足：66%
- 「学校生活の満足度」  
満足：92%
- ★大学と連携  
今後の大学での学びや受験に必要な学力とは何かを全職員間で共有
- ★視聴覚教材を導入  
授業改善を支援
- ★OJTによる授業改善  
職員研修で、異なる年齢・教科・経験を考慮した班編成を行い、互い高め合う環境を整備

## 学習基盤づくり

- 黙想からの授業開始：落ち着いた雰囲気での授業にのぞむ
- 教室棟の各階に自学室を完備。職員室前に自学スペースを確保→質問しやすい環境づくり
- 読解力を育成する環境づくり：図書館まつり(ビブリオバトルなど)・論述コミュニケーション